



輝け 多治見高校生!!

— Have a Dream Project —

泉中学校での学習支援ボランティア 平成 30 年 7 月 31 日(月)

夏休み中の7月31日(火)と8月2日(木)の2日間、泉中学校で行われた「高校生による学習支援ボランティア」に本校生徒6名が参加しました。

ボランティアは、泉中学校の生徒の夏休みの自主学習(学習強化週間)に合わせ、5教科について中学生からの問題の解き方や勉強の方法についての質問を受け、勉強を教えるという内容です。

本校では、泉中学校の卒業生に呼びかけ参加者を募り希望者が参加しました。

「広報とき」9/1号(Vol.1677) p.11にその記事(右)が掲載されています。



夏の宿題は先輩におまかせ

泉中学校で、高校生が学習支援ボランティアとして中学生の自主学習を支援する学習会が市内で初めて開かれました。この日、同校の生徒15人が参加。多治見北・多治見高校などの生徒9人と教員のマンツーマンによる指導で学習を進めました。

先生となった高校生は、「教員を志望している。相手に分かりやすく伝えるのは難しい」と、生徒となった中学生は「方程式の解き方が分かった。数学の宿題がすぐく進んでうれしい」と話してくれました。



▲学習支援ボランティアの様子



写真提供：土岐市役所まちづくり推進課広報係

【参加生徒の感想】

学習支援ボランティアに参加して

2年 浅尾 優衣

私は母校の泉中学校の夏休みボランティアに参加しました。汗をかきながら会場に入ると、懐かしい先生方が「参加してくれてありがとう。」と笑顔で出迎えてくださり、とても嬉しかったです。ボランティアは、中学生に勉強を教えるという内容で、私は一人の男の子を担当しました。その子は数学が苦手らしくやる気もあまりないように感じました。そこで私は「一緒に頑張ろう。」と声をかけ、基礎から丁寧に教えました。すると、だんだん分かってもらえたのか、「これは?、これは?」と次々に質問され、その回数もどんどん増えてきました。やはり、勉強は分かってくると楽しいものなんだと改めて感じました。

今回感じたことは、勉強を教える難しさです。教える側に立ってみると普段先生方は考えながら私たちに教えてくださっているのだなと思いました。

来年も機会があったら、また参加したいです。